

延命寺の宝物館が登録文化財に

このたび、河内長野市内にある延命寺（河内長野市神ガ丘492）の宝物館が、文化庁の文化審議会文化財分科会により、第97次登録有形文化財建造物として答申される予定となりました。これにより、河内長野市内の登録有形文化財は、8か所21件となる見込みです。

答申予定 令和2年7月17日（金）

解禁時間 令和2年7月17日（金）17時 ※朝刊の縛りなし

【薬樹山延命寺宝物館（やくじゅさんえんめいじほうもつかん）】

歴史的建物である宝物館は、境内南側の高台に建つ木造2階建て寄棟造の建物で、正面には切妻の玄関が設けられています。大きな鯨（しゃち）を鬼瓦とし、玄関部に華やかな装飾を施すなど隅々まで細工が行き届いており、城郭の櫓（やぐら）を思わせる重厚な外観となっています。

内部は1階に仏像が安置されています。中央に厨子を配置し、その周囲を回遊できるよう陳列棚が造りつけられており、静謐で豊かな空間となっています。2階は経蔵として使用されています。

この宝物館は、延命寺における重要なものを安置する施設として重厚な意匠を有しており、登録有形文化財登録基準（二）「造形の規範となっているもの」に該当するものと評価されました。

※薬樹山延命寺

弘法大師が地藏菩薩を刻んで安置したのが起源と伝えられる延命寺。紅葉シーズンには多くの参詣者が訪れる名所となっています。樹齢1000年ともいわれるカエデの巨木は、夕陽に映える美しさから「夕照もみじ」と呼ばれ府の天然記念物に指定されています。



問い合わせ： 河内長野市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財保護課

電話：0721-53-1111

※同時発表：府政記者クラブ（大阪府教育庁文化財保護課から）